

静岡県障害者技能競技大会

縫 製

■内 容

この競技では、所定時間内にエプロンを製作します。

裁断された布（土台、ポケット、見返し、肩ひも、腰ひも）などの各パーツに必要なアイロン工程及びミシン縫いの工程を行った後、組み合わせて縫製します。最後に仕上げアイロンをかけて完成です。

布地（表・裏）の扱い方、アイロンを使っての縫い代折り巾、ミシンの正確な縫い巾等、それぞれの工程に合わせた適切な技術・判断力を必要とします。

■見どころ・審査のポイント

作品を製作する大きなポイントは二つあります。一つは、ミシンをかける際の指先と布の扱い方であり、もう一つは、アイロン操作です。

布のいせ・曲線のくせ取り等を必要部分にしっかりと取り入れてミシン縫い・アイロン掛けが出来ればきれいな仕上がりとなります。

各パーツの仕上がり寸法の正確さ、アイロン使用技法とミシン縫製技法、作品の出来ばえ等を審査します。

■この競技種目に関係する職種で活躍している人々

縫製には、アパレル（衣服）以外にも寝具、インテリア用品、自動車用シート製造などがあります。

アパレル製品の生産工場では、流れ作業による生産システムがとられており、簡単な工程から熟練を要する工程までそれぞれの工程に合わせた人員を配置して製品を完成させます。

従来のアパレル産業は労働集約的でしたが、近年は自動縫製システムなどの開発によりミシン縫製工の作業内容も大きく変化しています。

最近では、既製品のサイズを調整する「お直し」や「裾上げ」を手がける洋服リフォーム専門店などでも技術を持った障害者が活躍しています。

■課題例・成果物例

令和2年度 静岡県立看護学校 技能競技大会（ナゼリシビツウ）
「縫製」 競技課題

1 課題 ミラロシ褶設

裁断済みの支給された材料で右図スタイルのミラロシを製作しなさい。

2 競技時間 3時間30分 打ち切り時間 4時間00分

3 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行なう。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら審査員に申し出る。



4 仕様

- (1) 肩ひも : 2cmのでき上がり幅で左方に縮ミシシステッチをかける。
- (2) 腰ひも : 4cmのでき上がり幅で左方に縮ミシシステッチをかける。
- (3) ボタンド
ボタンド目 : 1cm、2cmで三つ折り縫いとする。
ボタンド付け : (図3) ボタンドのつけ方を参照する。
縮ミシシ、伸さえ金の幅 (0.6cm) のダブルステッチとする。
- (4) 見返し : 見返し布の下側を0.5cm、1cmの三つ折り縫いとする。
- (5) 肩ひも付け : 見返しに採みつける。
- (6) 幅ぐりカーブ : 1cm折りで、幅ぐりから胸のステッチ幅は0.6cmの伸さえ金の幅でかける。
- (7) 裾と裾 : 1cm、1.5cmで三つ折り縫いとする。ステッチの順序は裾上げの後、腰ひもを採み込み、裾縫いをする。

5 支給材料

- (1) 製法 : 1層分
(縮ミシシ、伸さえ金で幅ぐり処理済み)
- (2) ミシシ糸 : 1色



■競技風景

